

ご挨拶

勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観は、江戸時代から続いてきたブドウ栽培と明治期に誕生したワイン産業を中心に、ブドウを振る舞った甲州街道勝沼宿、大量輸送が可能となった鉄道関係遺構、大水害後に造られた水防遺構、生活に密着した行事などの要素が積み重なってできた景観です。

甲州市・甲州市教育委員会は、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」をテーマに、山梨県内初の国の重要文化的景観の選定を目指した取り組みを行っております。平成28年度から平成30年度の3ヵ年にかけて、国立大学法人山梨大学、山梨県立大学、工学院大学の協力を得て価値調査を実施し、平成31年3月に調査報告書を刊行しました。また、本市への愛着を深めるとともに、景観保全・継承の機運を高めるべく、講座や散策、教育現場と連携したワークショップなどを実施しています。

甲州市教育委員会文化財課では、甲州市文化的景観シンポジウム「かつぬまの美しさに、」を令和2年2月28日（金）に開催すべく、準備を進めてきたところですが、新型コロナウイルス感染症対策に基づき中止といたしました。

このようなお知らせになり、シンポジウム開催に係る関係者一同残念ではございますが、本要旨を通して、調査に携わったパネラーの皆様から見た「かつぬまの美しさ」をお伝えできれば幸いです。

引き続き、全国に誇れる勝沼地域の景観を守り、次世代へつなげるべく取り組みを続けてまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いをいたします。

甲州市教育委員会
教育長 保坂 一仁